

令和6(2024)年度 児童館事業年間活動報告書

上賀茂児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子ども育成機能	(1)日常の自由遊び活動	日常												館内で遊具を使った遊び・読書・小学校グラウンドや公園での外遊び	小学校のグラウンドが使える外遊びが充実し、室内遊びも充実している。また、遊戯室が学童クラブ児童の生活の場となり、自由来館児童の遊び場として課題が多い。
	(2)遊びの教室活動														
	あずきひろい週間	5		64	4	12						80	あずきひろい	あずき拾いに集中して取り組み、記録更新を目指して挑戦	
	あそぼうデー	10	7	249	1	20		2				279	あずきひろい・つもッター、輪投げ、福笑い、シュートゲーム等	毎月開催することで、子どもたちに新しい遊びが定着した。	
	うちわ工作	10		77		7						84	うちわ工作	クールキッズステーションとして夏の暑さを軽減した。作る楽しさも味わった。	
	オセロ週間	5		74		3						77	オセロ	大会に向けてオセロのルールを学び練習できた。	
	かまぼこ落とし週間	5	1	100	4	15						120	かまぼこ落とし	かまぼこおとしを楽しんだり、新しい技にチャレンジしたりすることができた。	
	きりえ週間	30		383		14	1					398	きりえ	きりえを集中してやることができた。	
	けん玉週間	10	8	116								124	けん玉	けん玉の技にチャレンジし、1人1人が自分なりにけん玉を楽しむことができた。	
	なわとび週間	5		25		1						26	なわとび	なわとびの技にチャレンジし、1人1人が自分なりになわとびを楽しむことができた。	
	マンカラ週間	5	6	129		8						143	マンカラ	マンカラ大会に向けて練習する子どもたくさんいた。	
	折り染め週間	3	2	63		8						73	折り染め	折り染めで色々な模様を作り出すことを楽しんだ。	
	大型作品作成	3		26		2						28	大型作品作り	大型作品作りを通して達成感を感じることができた。	
	美術館手紙書き週間	5		21		11						32	上賀茂美術館の招待状作り	上賀茂美術館の招待状を作り、小学校の先生を美術館に誘うことができた。	
	(3)行事活動														
	オセロ大会	1		1	25	2	2						30	オセロのトーナメント戦を楽しむ。	オセロを大会形式にすることで意欲を持って活動することができた。
	なんでもクラブ	14			17	28	22				36		103	小学校4年生の登録制、毎月実施。工作や防災教室他季節遊び。	登録制のクラブで企画段階から参画し、こども主体のクラブとして活動することができた。
	マンカラ大会	1		4	38	1	7						50	マンカラのトーナメント戦を楽しむ。	マンカラを大会形式にすることで意欲を持って活動することができた。
	避難訓練	13	19	7	570	18	82		56				752	避難訓練	避難訓練について学ぶことができ、防災意識を高めることができた。
	防犯教室	2			55		12						67	防犯について学ぶ。	不審者対応等、防犯について学ぶことができた。
児童館・学童保育所まつり	1		2					7				9	児童館・学童保育所まつりへの参加	北文化会館で行われた児童館・学童保育所まつりに参加し、いろいろな遊びに触れることができた。	
ドローン体験イベント	1			16		14						30	ドローン体験	普段はなかなか触れることのできないドローンを操作した。貴重な体験となった。	
子どもの居場所作りワークショップ	1				2							2	子どもの居場所作りワークショップへの参加	子どもの居場所作りワークショップに参加し、他の児童館の子どもの交流することができた。	
市長との会議事前ズーム会	1				2							2	市長との会議事前ズーム会議への参加	市長と話をする前の事前打ち合わせを行うことができた。	
大掃除	1			57		3						60	大掃除	大掃除を通して、児童館をきれいにする喜びなどを感じることができた。	
ドッジボール交流会	1		8	3		2					8	21	ドッジボール交流会	ドッジボールを通して他館と交流することができた。	
(5)地域間交流促進活動															
かみがもおたのしみランド	1	114	52	74	47	18	5	173		4	76	563	地域住民との交流 児童館まつり	地域住民との交流。地域の各団体と連携し交流することができた。	
夏祭りステージ発表	1			46								46	地域住民との交流 夏まつり	地域住民との交流。地域の各団体と連携し交流することができ、まつりの舞台をも盛り上げた。	
(6)障害のある児童の居場所 (7)思春期児童の活動支援															
中高生の切り絵タイム	7						6					6	中高生の切り絵	学童クラブ時代から「きりえ」が好きな中・高生がきりえ活動に取り組んだ。見直しが必要である。	
(8)エコ活動															
エコアクション	12		15	246	43	8		19		16	7	354	エコ活動 毎月実施 烏帽子公園の清掃活動など。	地域の団体と交流しエコ活動に動かしむ。	
合計	154	133	113	2474	152	271	12	257	0	64	83	3559			
推進活動	(9)地域を知る活動 (10)移動児童館活動 (11)中高生と赤ちゃんとのふれあい交流授業 中高生と赤ちゃん交流事業 加茂川中学校との連携	1						171				178	全2年生対象に出張授業。命の大切さを伝える。助産師や保健師、他地域と連携。	加茂川中学校の命のふれあい授業に参加。はぐくみ室や助産師とともに命の大切さや家族の大切さを見つめるおすまじとなった。	
合計	1							171				178			
子ども育成機能 合計	155	133	113	2474	152	271	183	264		64	83	3737			

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

地域	基	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題					
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計			
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ								
(1) 地域住民との交流を促進する活動	天ぷら油回収	12									34	34	地域団体	天ぷらの油回収を通してエコ活動を行った。乳幼児対象の読み聞かせを楽しみることができた。 地域の団体より運営協力会で集まり年4回開催ができた。 地域団体と連携し、学区のまつりでは遊びのコーナーを展開することができた。 各団体が集まり、情報交換や交流を行うことができた。 読み聞かせを通して、子どもたちが本に親しむことができた。 乳幼児親子の交流の場となった。 エコ活動を展開することで、地域の清掃活動への興味や関心を深めることができた。 マツノノーツの活動に取り組むことができた。 京都産業大学の大学生による英語の読み聞かせを通して絵本に親しむことができた。 各団体が集まり、情報交換や交流を行うことができた。 フードロスを目指す取り組みを通して、エコについて考えるきっかけになった。 地域団体と連携し開催することで、地域の子育てネットワークを深めることができた。			
	北区図書館の読み聞かせ	11	123								123	246	北区図書館				
	運営協力会	6									108	108	運営協力会				
	上賀茂学区夏祭り	1			46							46	46		上賀茂学区地域団体		
	母親サークル打ち合わせ	3								9		9	9		母親サークル		
	のほほんさん読み聞かせ	10				5	197					205	205		のほほん		
	カモンベイビー	4		52							62		62		114	民生児童委員	
	上賀茂美術館	6		32	1	57	1	13					104		104	SWING	
	モザイクアート	1		1		8	14	1					24		24		
	京都産業大学英語の本の読み聞かせ	1					5				5		10		10	京都産業大学	
	ネットワーク会議	2										16	16		16	小学校など	
	フードドライブ	1		2		1						9	9		9	12	児童館学童連盟
	おたのしみランド	1		114	52	74	47	18	5	173	483					運営協力会	
合計		—	324	58	388	62	35	5	539	1131							
福祉	本	活動内容	活動人数				成果と課題										
			中学生	大学生	大人	合計											
			1	83	3	83	50	133	1	大学生のボランティア育成に繋がった。 大学生のボランティア育成に繋がった。 大学生のボランティア育成に繋がった。 高校生や大学のボランティア育成に繋がった。							
合計	1	169	50	220													
促進	機	連携団体等	連携内容				成果と課題										
			上賀茂児童館運営協力会 上賀茂小学校 上賀茂幼稚園 上賀茂子ども園 上賀茂児童児童委員協議会 北区保健福祉センター「子どもはぐくみ室」 上賀茂自治連合 北区社会福祉協議会 防犯推進(委)上賀茂支部 交通安全協会 少年補導委員会上賀茂支部 主任児童委員 のほほんクラブ 上賀茂学区社会福祉協議会 加茂川中学校 北警察署 北エコまちステーション 京都産業大学「NONTs」 SWING 北区の児童館 近隣の児童館・保育所				じどうかんだよりやチラシの配布。会議や児童館行事への協力。日常的に情報交換。 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 上賀茂子育て支援ネットワークによる連携 児童館行事への協力。 児童館行事への協力。児童館だよりの地域回覧に協力。 中学生と赤ちゃんとの交流事業の開催。 児童館事業や学童児の防犯教室の交通安全や防犯についての行事に協力。 エコ行事への話しや実践に協力。 季節行事の共催。あそびのボランティア。 行事の共催。エコアクションは毎回参加 おたより交換、情報交換や行事の共催など。 行事を共催。日常的に情報交換。				会議や児童館行事への協力。日常的に情報交換をすることができた。 じどうかんだよりやチラシの配布。日常的に情報交換をした。 相互におたよりやチラシの交換・設置。日常的に情報交換できた。 「あそびの会」の共催。上賀茂学区子育て支援ネットワーク会議に参加。日常的に情報交換。 子育てサロンへ、活動場所の提供や運営協力などを行った。ネットワーク会議にも参加。 じどうかんだよりの設置。中学生と赤ちゃんとの交流事業や子育て講演会に協力。 明神川行灯フェアの行灯づくりを共催など。他にも行事に参加。 児童館行事への協力。じどうかんだよりの配布。地域回覧印刷協力。日常的に情報交換。 上賀茂子育て支援ネットワーク会議などにより情報交換などを行った。 上賀茂子育て支援ネットワーク会議などにより情報交換などを行った。 上賀茂子育て支援ネットワーク会議などにより情報交換などを行った。 上賀茂子育て支援ネットワーク会議などにより情報交換などを行った。サロンも開催。 児童館行事にスタッフ参加。 地域へのおたよりの配布協力で、地域に児童館を周知してもらうこともできた。 思春期児童に向けて、乳幼児との関わりや命や家族の大切さを伝えることができた。 スクールサポーターの講師として、防犯教室など協力を得た。 おゆずり会実施で回収や提供で協力を得た。 活動の相互協力により自由遊びや活動の充実につながった。防犯教室や運動会も企画実施 活動の相互協力によりお互いの行事の充実につながった。 おたよりや情報交換などの交流ができた。 学区を越えて乳幼児親子の情報を共有し、見守っていくネットワークを形成できた。						
進	能	(3) 地域との連携を促進する活動															

地域	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題	
			・京都市上賀茂児童館運営協力会		・上賀茂学区社会福祉協議会・上賀茂自治連合会 ・民生児童委員会・少年補導委員会・消防分団・自主防災会 ・交通安全協会・交通安全推進会・地域おやじの会 ・体育振興会・地域女性会・上賀茂小学校上賀茂小学校PTA ・上賀茂幼稚園・上賀茂幼稚園PTA・上賀茂保育園 ・上賀茂保育園園生会・児童館ボランティア代表 ・児童館学童クラブ保護者代表				打ち合わせ会 ・運営協力会代表と活動の計画と確認 総会 ・児童館事業と学童クラブ事業の年間活動計画 打ち合わせ会 おたのしみランドについて ・内容を検討 年間活動報告会 ・児童館事業と学童クラブ事業の報告 と次年度に向けてをする予定であった。		年に4回以上開催。運営協力会で意見を出し合うことや情報交換することで連携して良い運営をすることができた。年間の計画や報告の他にも色々相談しながら進めることもできた。おたのしみランドについても密に話し合う。スライド上映などもすることで、日々の児童館の様	
			・北区児童館学童保育所連絡協議会		・区内児童館・学童保育所		1回		・学習会 ・上賀茂神社作品展 ・FNAOKASTANDARD実行委員会の担当について		上賀茂児童館神社の作品展ではきりえ作品を展示。	
地域	福祉促進	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）		成果と課題			
			遊戯室、遊具など		子育てサロンの活動に使用。		上賀茂民生児童委員会		地域団体と利用者の交流に繋がった。			
			遊戯室、遊具、机、イスなど		子育てサークルの活動に使用。		プチモンミュージック・ベビーマッサージママヨガ 親子で英語		子育てサークルの支援に繋がり、子育て世代で繋がれ			
地域	推進機能	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題				
			幼児クラブ年度末アンケート	幼児クラブの充実	幼児クラブ登録児童の保護者	上賀茂児童館	年度末に聞き取り	利用者の声を聴きまとめることで、次年度に向けてより良い運営ができるように計画していく事ができた。				
			あそびの広場アンケート	行事の充実	あそびの広場参加保護者	上賀茂児童館	イベント後に聞き取り。	内容や日時の設定にはおおむね満足したとの結果となった。今後もより充実させていきたい。				
	子育て講座・講演会アンケート	行事の充実	子育て講座・講演会参加者	上賀茂児童館	企画終了後に配付・回収	利用者のニーズを知るためにも行った。						
	利用者共通アンケート	児童館運営の充実	児童館利用者	上賀茂児童館	来館時に配付・回収	利用者の声を聴きまとめることで、分からなかった気づきと確認をする事ができた。次年度に活かしていきたい。						

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広	「かみがもじどうかんだより」 「かみがもじどうかんだより特集号」	月1回 年1回	上賀茂小学校の全児童 運営協会の団体 地域住民 児童館利用者	上賀茂小学校に全校配付 北子ども支援センターに設置 北保健センターに設置 上賀茂幼稚園に設置・配付 運営協力会に配布 区社協に配布 館内に設置・配布 幼児クラブ及び遊びの広場にて配付 スーパー(生鮮館)に設置 楽只保育所に設置	児童館事業の紹介 月間事業計画の案内・宣伝 行事参加者の募集 児童館の利用方法や約束事の案内 ファミリーサポート事業の案内	小学校全校配付により児童館行事が小学生に周知される。また、近隣のスーパーに設置することで、乳幼児親子にも広く周知することができた。行事や事業に関する問い合わせも多くあり、広報が着実に地域に伝わっている。児童館利用者から多数の良い反響があり、これからはできる限り行事の様子を地域に伝えていき児童館をPRしていきたい。
	行事のチラシ	各行事毎	上賀茂小学校の児童 児童館利用者 地域住民	上賀茂小学校に全校配付 館内に設置・配布 幼児クラブ及び遊びの広場にて配布 スーパー(生鮮館)に設置	大型行事の案内・宣伝 募集が必要な行事の参加者の募集	小学校全校配付により児童館行事が小学生に周知される。また、近隣のスーパーに設置することで、地域にも広く周知することができた。各行事で広報により参加数が増えている。
報						
活	児童館利用案内	随時	児童館利用者	各クラブの登録説明会 館内に設置・配布	概要、児童館の事業について、館内案内、行事案内等	利用者に児童館全体について分かりやすく知ってもらうことができた。
動	行事案内(看板・掲示板)	掲示板：毎月 看板：各行事毎	児童館利用者・地域住民	館外に掲示	各月の行事や事業や大型行事の案内	館外に掲示することで、児童館利用者だけでなく近隣住民にも広報することができ、児童館利用につながった。

令和6(2024)年度

学童クラブ事業年間活動報告書

上賀茂児童館・学童保育所

	活動の基本目標(指針)	主な取組名	成果と課題
生活援助機能	<p>安全・衛生の確保</p> <p>健康の管理・情緒の安定</p> <p>基本的生活習慣の確立</p> <p>社会生活技術の獲得</p>	<p>机の出し方指導 挨拶の励行 おやつ提供</p> <p>QRカード入室指導(出欠確認) 衛生管理 手洗い・うがいの励行</p> <p>集団下校指導</p> <p>安全週間 夏休みの健康管理・生活習慣づくり 怪我や病気への対応、健康状態の把握</p> <p>身の周りの整理整頓・掃除 生活班替え・当番活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の中で生活するうえで必要な場づくりができるようになった。安全面などには気をつける必要がある。 ・「ただいま」や「さようなら」、「いただきます」「ごちそうさま」など基本の挨拶の励行。しっかりできる子が増えた。 ・帰ってきた子からおやつを食べさせるなど、学校からの下校時間を考慮して設定した。 ・安全衛生管理のもと、季節に合ったおやつを出したり、子ども達に選ばせたりするなど、楽しみをもたせる工夫をした。 ・連絡なしでの欠席、早帰りは保護者電話連絡を入れて確認を行う。館に来るのが遅い場合は、学校にも確認を取り、状況を把握した。 ・登館時や外から室内に入ってきた時、昼食、おやつ前など、手洗い・うがいの徹底を図った。おやつ前のアルコール消毒も実施した。 ・音が響くような口角から口角までは、お湯、お水を両方向の洗面台を両用し、安全に追加のおやつ指導した。 ・下館時の子ども達同士のトラブル等については、速やかに対応し、対象の帰りグループで話し合う。また事案によっては、お帰りの会全体で話し、子ども達同士で気をつけることを話し合う場を設けた。互いに注意し合う態度を促した。引き続き、安全な帰り方を指導、見守っている。 ・月に一度安全週間を設定し、安全に下館できるように意識づけをした。 ・学習時間や休憩時間を実施し、長い夏休み期間の生活リズムを整える。外遊びを短縮・中止し熱中症対策をとった。 ・怪我や体調不良には迅速に保護者に連絡をとる。静かな部屋で休ませたり、緊急時は病院に連れて行くなどして対応した。 ・土曜日、学校長期休暇、年末には学童全員で掃除を行い、清潔を保った。 ・子ども自身が持ち物の管理ができるよう、記名の徹底を行っていきたい。 ・生活班活動は今はいしていないが、3年生が中心となって日々の生活がよくなるように声掛けをしてくれている。
子ども育成機能	<p>生活体験の拡大</p> <p>社会性の養成</p>	<p>避難訓練 お誕生日会</p> <p>1年生切り絵指導</p> <p>3年生会議</p> <p>2年生会議 ブロックやんちゃにむけての歌練習</p> <p>みんなあそび 大学生ボランティアサークルとの交流 ブロックやんちゃ</p> <p>上賀茂神社アートプロジェクト参加</p> <p>スノードーム作り うちわ工作 クリスマス工作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の中で災害が起こったときにどのように行動すればよいかについて考え、火災・地震・不審者など、いろんなパターンで訓練することができた。 ・お帰りの会で、お誕生日の子ども自身が自分の好きなものクイズを出して、その子を知る機会、楽しく過ごす時間となった。 ・早い時期から1年生に Cutter 指導を行い、切り絵週間や希望者には土曜日に集中して取り組むことで、展示発表に向けて、意欲を持って作品作りに取り組んだ。 ・学童クラブの中心学年としての役割を回を重ねるごとに自覚し、自分たちで、話し合い、発言し、意見をまとめる経験をする。毎月の目標を考え、学童クラブ全体に共有した。自分たちで話し合い、発言し、意見をまとめる経験をする事ができた。毎月の目標を考え、学童クラブ全体に共有することができた。 ・年度末に、次年度中心になる2年生を集めて、次年度の目標などを考えさせた。生活への意識を対峙めることができた。 ・大きな舞台での発表に向けて、せりふの練習や歌の練習を行った。 ・あそびを企画し、進行するまでをみんなあそび実行委員会が中心になって進めることができた。 ・少ない人数で交流を図る。ノンソ主催の運動会も実施。 ・いろいろな遊びに触れる機会になった。大きな舞台でのステージ発表、他館との交流など、自館だけではできない体験をすることができ、参加した児童にとっては貴重な機会となった。 ・上賀茂神社にきりえ作品を出展した。切り絵が飾られる喜びなどを共有することができた。アートプロジェクトで出展した作品は、かみかも美術館で展示した。 ・かみかも美術館の出展に向けて、スノードーム作りに取り組んだ。ひとりひとりが工夫して作品を作ることができた。 ・夏休みに、うちわ作りに取り組んだ。季節の工作として、ひとりひとりが楽しみながらうちわを作ることができた。 ・クリスマスの時期に、クリスマス工作としてツリーづくりをした。楽しみながら工作に取り組むことができた。
自立の促進と自主性の尊重	<p>大掃除 防犯教室 お楽しみ会実行委員会 プラ板作り お楽しみ会</p>	<p>・年末に大掃除を行った。普段はそうじできないところまで掃除することができた。</p> <p>・不審者対応についてスクールサポーターの方に教えてもらうことができ、防犯意識が高まった。</p> <p>・クリスマス会、年度末ハッピーパーティなど、子どもたちが自分たちでイベントを企画し、みんなで楽しむことができた。</p> <p>・次年度入ってくる1年生のためのプラ板づくり、自分たち用のプラ板づくりをすることができた。</p> <p>・12月と3月に、おたのしみ会をすることができた。子どもたちが自分たちが中心になってイベントを企画し実現することができ、大変貴重な機会になった。</p>	<p>・年4回開催し、子どもたちの様子を写真などで伝えつつ、保護者の抱える悩みや疑問を話し合う機会を持った。</p> <p>・保護者同士、職員との関係を深める機会となった。少人数の中で、ゆくり話し合う機会となった。参加を増やす方法も探していきたい。</p> <p>・新入会生の保護者と気になることがあるご家庭を対象に個人懇談を2週間にわたって行う。家庭の様子とは異なる学童での様子などを共有して、保護者と職員との協力関係づくりの機会となる。</p> <p>・夏休み前に、夏休みの過ごし方について保育懇談会を開き、夏休みの生活の様子や気をつけたいことなどを家庭と共有することができた。</p> <p>・学童クラブに入会されるご家庭を対象に、学童クラブでの生活の様子をお伝えし、見通しを持ってもらうことができた。学童クラブでの生活において、気をつけておきたい点などを共有する機会となった。</p> <p>・毎月のお便りを紙面で発行することを通じて、予定の確認、学童での様子を伝えることが出来た。また玄関には、子ども達の様子を写真やイラストで伝える壁面を作成した。</p> <p>・行事前には、参加確認書を配布し、ご家庭のご都合を把握した。行事によっては、保護者の参加も募った。提出率はおおむね良い。</p> <p>・お帰りの会などで、連絡帳にお手紙が入っていることを伝えて、子ども達に保護者の意識づけにつながる発信を促した。</p> <p>・特例預かりにあたり、学校と連携を取った。</p> <p>・気になる児童については、学校の担任と話し合う機会をもち、学童での様子を意見交換し、対応を考えた。</p> <p>・3月の休校措置や町別集会上校のときなど、児童出欠名簿をやりとりして連携して対応した。</p> <p>・基本的援助について介助者との共通理解をはかり、学童でのより良い過ごし方を探った。職員による個別対応も多く行った。</p> <p>・随時、保護者の困りごとや意見に耳を傾けるようにした。時間をとってひとりひとりの保護者の相談をできる限り聞けるようにした。</p>
子育て支援機能	<p>子育てに必要な情報の提供と交換</p> <p>子育ての仲間づくり</p> <p>子育てを支えるネットワーク形成</p>	<p>保育懇談会</p> <p>個人懇談</p> <p>夏休み説明会</p> <p>学童クラブ入会説明会</p> <p>学童だよりの発行や行事のお知らせ</p> <p>学校及び関係機関との連携</p> <p>障害のある児童への統合育成 個別相談</p>	<p>・年4回開催し、子どもたちの様子を写真などで伝えつつ、保護者の抱える悩みや疑問を話し合う機会を持った。</p> <p>・保護者同士、職員との関係を深める機会となった。少人数の中で、ゆくり話し合う機会となった。参加を増やす方法も探していきたい。</p> <p>・新入会生の保護者と気になることがあるご家庭を対象に個人懇談を2週間にわたって行う。家庭の様子とは異なる学童での様子などを共有して、保護者と職員との協力関係づくりの機会となる。</p> <p>・夏休み前に、夏休みの過ごし方について保育懇談会を開き、夏休みの生活の様子や気をつけたいことなどを家庭と共有することができた。</p> <p>・学童クラブに入会されるご家庭を対象に、学童クラブでの生活の様子をお伝えし、見通しを持ってもらうことができた。学童クラブでの生活において、気をつけておきたい点などを共有する機会となった。</p> <p>・毎月のお便りを紙面で発行することを通じて、予定の確認、学童での様子を伝えることが出来た。また玄関には、子ども達の様子を写真やイラストで伝える壁面を作成した。</p> <p>・行事前には、参加確認書を配布し、ご家庭のご都合を把握した。行事によっては、保護者の参加も募った。提出率はおおむね良い。</p> <p>・お帰りの会などで、連絡帳にお手紙が入っていることを伝えて、子ども達に保護者の意識づけにつながる発信を促した。</p> <p>・特例預かりにあたり、学校と連携を取った。</p> <p>・気になる児童については、学校の担任と話し合う機会をもち、学童での様子を意見交換し、対応を考えた。</p> <p>・3月の休校措置や町別集会上校のときなど、児童出欠名簿をやりとりして連携して対応した。</p> <p>・基本的援助について介助者との共通理解をはかり、学童でのより良い過ごし方を探った。職員による個別対応も多く行った。</p> <p>・随時、保護者の困りごとや意見に耳を傾けるようにした。時間をとってひとりひとりの保護者の相談をできる限り聞けるようにした。</p>

令和6年度 学童クラブ事業年間活動報告書

上賀茂児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
(1)生活援助機能																
1年生オリエンテーション	3	35													35	子どもたちが児童館に親しめるようにオリエンテーションを行うことができた。
1年生机だし指導	3	35													35	子どもたちが児童館で過ごすために必要な生活技術(机出し)を身につける。 ・「ただいま」や「さようなら」、「いただきます」「ごちそうさま」など基本の挨拶を呼びかけた。 ・おやつを準備し、子どもたちが日々のおやつを楽しんで食べられるように工夫した。 ・QRカードを使って、日々のお欠確認を行った。
挨拶の励行	随時															
おやつ提供	随時															
QRカード入室指導(出欠確認)	随時															
衛生管理 手洗い・うがいの励行	随時															
年度初め集団下校指導	5	51	69	65	20	5	1								211	・登館時や外から室内に入ってきた時、昼食・おやつ前など、手洗い・うがいの徹底を図った。 ・安全に気をつけて集団帰りができるように、おかえりの会などで日々、安全について呼びかけた。
安全週間	50	826	836	501	215	44	58								2480	・月に1度安全見守り週間を設定し、子どもたちが安全に帰れるように声掛けを行った。
(2)子ども育成機能																
避難訓練	6	143	126	50	24	5	14	3	9					1	375	児童館における災害時の避難の仕方や職員の動きを確認した。
お誕生日会	毎月随時	1435	1344	782	332	78	132								4103	おかえりの会で、すきなものクイズをおこないお祝いのカードを渡した。
3年生会議	10			197											197	毎月の目標を話し合った決めたり、みんなあそびについて話し合ったりした。
1年生切り絵指導	随時	35	1	1											37	1年生向けにカッターの使い方、きりえの仕方を指導した。
2年生会議	1			31											31	年度末に、来年度の目標を決めたり、3年生としてがんばりたいことなどについて話し合った。
みんなあそび	3	51	44	41	16	2	7								161	みんなあそび実行委員会が決めたみんなあそびを学童全員で行った。
ネットトラブル対策講座	1	23	25	13	7	3	4								75	ネットトラブルについて、考えることができた。
防犯教室	1	39													39	不審者対応についてスクールサポーターの方に教えてもらった。
クリスマス会実行委員会	2			12											12	クリスマス会を行うための話し合い活動を行った。
クリスマス会	1	38	35	22	9	2	3								109	1年間のまとめとして、クリスマス会を行った。
おたのしみお別れ会	1	35	37	17	7	2	2								100	年末に、児童館内の清掃活動に取り組んだ。
بران作り	5	41	49	35	16	7	7								148	新入会の1年生のためにبران作りに取り組んだ。
(3)子育て支援機能																
保育懇談会	2														18	18 保護者の方との話し合いの機会を持ち、子どもについての情報を共有した。
個人懇談	16														31	31 保護者との個別の相談の機会を持ち、子どもについての困りごとなどを共有した。
夏休み説明会	2							3							23	23 夏休みの生活についての説明会を行った。
学童クラブ入会説明会	2							1							55	55 学童クラブの目標やねらい、1日の流れなどについて説明した。
親子交流会	1	15			3			17	2						30	30 親子でのイベントを通して、親子交流を深めることができた。
みんなでつくろうデー	1	7		2	1										10	10 千代紙を使って、親子での製作活動を楽しむことができた。
学童クラブ登録説明会	2														25	25 次年度学童クラブに登録される保護者に対して説明会を行った。
個別相談	随時															
学童クラブだよりの発行	毎月															

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること